

土休日の運行について

- ・バス乗降調査等によると、観光による利用を除き、土休日の利用は平日と比べ少ない。
- ・高校生へのアンケート調査によると、土休日に定期的にバスを利用している学生は非常に少ない。
- ・通学に関して、学校行事や一部の部活動のみの利用で、平日に比べ利用は限られると想定
(保護者等による送迎が主)

- ・利用実態等の現状及びバス事業者のバス運行の現状(運転士確保、事業経営等)を鑑みると、現時点で土休日については、減便・運休を許容
- ・その上で、次の対応を検討
 - 別路線での補完(野沢線に対する「木島平シャトル便」、「野沢温泉ライナー」など)
 - 利用実態に応じた移動手段の確保(ライドシェア、学校関係者等による送迎など)
- ・その他、宿泊税重点交付金を活用した二次交通網整備(観光利用)についても検討

品質保証の水準について（案）補足説明

通学に関する品質保証について

- ・バス乗降調査等によると、朝(登校時)、夕方(通常下校時)は一定の利用があるものの、夜(課外活動終了後下校時)の利用は少ない。
- ・高校生アンケート調査によると、バス利用でダイヤが合わず不便と回答した生徒のうち、夜の時間帯に不便を感じる生徒は、夕方の時間帯に不便を感じる生徒の半分程度
(分析として)夜の時間帯に利用が少ないのは、保護者等が送迎しているものと思われる。

- ・通学に関しては、利用実態等に応じて登下校に必要な便を確保するものとする。
- ・バス事業者のみで登下校に必要な便を確保できない場合は、別途対応を検討
【対応例】
 - ライドシェアの活用、学校運営上の柔軟な対応(バスダイヤに合わせた利用生徒の登下校)
 - 学校関係者等による送迎
- ・今後も利用状況等を継続的に確認し、利用実態に応じて登下校に必要な便を確保していく。